

公開実用平成 2-54677

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-54677

⑬ Int. Cl.⁵

B 62 D 1/16
25/08

識別記号

J

庁内整理番号

7721-3D
7816-3D

⑭ 公開 平成2年(1990)4月20日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ステアリング支持装置

⑯ 実 願 昭63-132151

⑰ 出 願 昭63(1988)10月8日

⑱ 考 案 者 佐 伯 明 雄 神奈川県藤沢市土棚8番地 いすゞ自動車株式会社藤沢工場内
⑲ 考 案 者 内 藤 孝 神奈川県藤沢市土棚8番地
⑳ 出 願 人 いすゞ自動車株式会社 東京都品川区南大井6丁目22番10号
㉑ 代 理 人 弁理士 矢 吹 和 義

明 細 書

1 考案の名称

ステアリング支持装置

2 実用新案登録請求の範囲

ダッシュアップパーパネルの一方側寄り位置に固設されたメインブラケットに、左右カウルサイドパネルに架設された支持ビームが固定され、かつステアリングコラムブラケットが取着されていると共に、ダッシュアップパーパネルの他方側寄り中間位置に固設されたサブブラケットに支持ビームが固定されているステアリング支持装置。

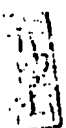
3 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、車両のボディにステアリングコラムを支持する支持装置の支持剛性を向上させることのできるステアリング支持装置に関するものである。

〔従来の技術〕

この種の車両のボディにステアリングコラムを支持する支持装置においては、従来のものはダッ



シュパネルの上部に一体のパネルの一方側寄り位置に固設されたブラケットに、左右カウルサイドパネルに架設されたステアリング支持部材が固定され、かつステアリングコラムがブラケットにより取り付けられて、ステアリングの支持剛性を高めることによりステアリングの振動を低減させるものが知られている（例えば実開昭 57—177873 号公報および実開昭 59—190677 号公報参照）。

〔考案が解決しようとする課題〕

従来のステアリング支持装置においては、ダッシュパネルの上部に一体のパネルに固設されたブラケットは、左右カウルサイドパネルに架設されたステアリング支持部材と協働してステアリングの支持剛性を高めるために、車輻方向の右あるいは左の一方側寄りに位置するステアリング装設位置において上記ステアリング支持部材に固定されているものであるから、この固定位置はステアリング支持部材に対しては一方側が短く、かつ他方が長いものとなっている。したがって、ステア

リング支持部材によるステアリングの支持剛性は一方側と他方側とにおいて不均衡を生じ、これが車両の走行中においてはステアリング支持部材の一方側と他方側とにおいて別異の振動を生起して、ステアリングに不規則かつ複雑な振動が伝播されるため、円滑なハンドル操作が困難となるという問題があった。

本考案は、上記従来技術の問題点を解決するもので、左右カウルサイドパネルに架設された支持ビームをダッシュアップパネルにメインブラケットとサブブラケットとにより固定することによって、支持ビームの支持剛性の向上および均衡化を図ると共に、支持ビームのメインブラケット固定位置であるステアリング装設位置における振動を低減、かつ均一化させることにより、ハンドル操作を円滑に行うことができるステアリング支持装置を提供することを目的とするものである。

〔課題を解決するための手段〕

上記した目的を達成するために、本考案のステアリング支持装置においては、ダッシュアップ



パネルの一方側寄り位置に固設されたメインブラケットに、左右カウルサイドパネルに架設された支持ビームが固定され、かつステアリングコラムブラケットが取着されていると共に、ダッシュアップパーパネルの他方側寄り中間位置に固設されたサブブラケットに支持ビームが固定されているものである。

〔作用〕

上記のように構成されたステアリング支持装置は、ダッシュアップパーパネルの一方側寄り位置に固設されたメインブラケットに、左右カウルサイドパネルに架設された支持ビームが固定され、かつステアリングコラムブラケットが取着されているものであるから、ステアリングが内装されているステアリングコラムは、車両のボディを構成しているダッシュアップパーパネルと左右カウルサイドパネルとに、メインブラケットと支持ビームとにより車幅方向の一方側寄り位置に支持されるものであるが、本考案においては、さらに車幅方向の他方側寄り位置におけるメインブラケットと支



持ビーム端部との中間位置において、支持ビームはダッシュアップパネルにサブブラケットにより支持されているものであるから、その結果としてステアリング装設位置に位置するメインブラケットは、支持ビームが支承されている一方側の端部とサブブラケットとの略中央部において支持ビームを固定することとなるので、車幅方向の一方側寄りに位置するステアリングはメインブラケットを中心として支持ビームと支持ビームの他方側寄り中間位置を支承するサブブラケットとにより支持され、その支持剛性が向上されるばかりでなく、支持剛性の均衡化を図ることができると共に、ステアリングの振動を低減させ、かつ均一化させることができるものである。

〔実施例〕

実施例について図面を参照して説明すると、1はダッシュパネルで、その上部にダッシュアップパネル2が一体に形設されていると共に、両側部に左右カウルサイドパネル3，3が一体に形設されている。該左右カウルサイドパネル3，3に



はダッシュアップパネルに対向して支持ビーム 4 が架設され、該支持ビーム 4 にはその車幅方向の右方側寄りに位置して車両の後方に向けて膨出されている膨出部 4' が形成されている。上記ダッシュパネル 1 には支持ビーム 4 の膨出部 4' に位置してペダル支持ブラケット 5 が固設されていると共に、ペダル支持ブラケット 5 の上端部は支持ビーム 4 の膨出部 4' の下側に延設され固定されている。またダッシュアップパネル 2 には支持ビーム 4 の膨出部 4' に位置してメインブラケット 6 の基部が固設されていると共に、メインブラケット 6 の先端部は支持ビーム 4 の膨出部 4' の上側から下側に向け抱持し固定されている。そして支持ビーム 4 の膨出部 4' はステアリング装設位置に対応しており、ステアリングが内装されているステアリングコラム 7 は支持ビーム 4 の膨出部 4'、ペダル支持ブラケット 5 の上端延設部およびメインブラケット 6 の三者一体の固定結合部にステアリングコラムブラケット 8 により取着されている。さらに車幅方向の左側寄り位置にお

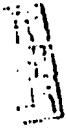


けるメインブラケット6と支持ビーム4端部との中間位置において、支持ビーム4はダッシュアップパーパネル2に固設されたサブブラケット9により固定されており、その結果としてステアリング装設位置に位置するペダル支持ブラケット5の上端延設部とメインブラケットは、支持ビーム4が支承されている右方側の端部とサブブラケット9との略中央部において支持ビームを固定することとなるものである。なお、ダッシュアップパーパネル2にサブブラケット9を固設するにあたっては、サブブラケット9はダッシュアップパーパネル2に計器板10と共にスタッドボルト11とナット12により固定されるものである。

以上は右ハンドルの車両の実施例について説明したが、左ハンドルの車両についてもステアリング支持装置の左右の構成を逆構成にすることにより同等の機能を発揮することができるものである。

〔考案の効果〕

本考案は、以上説明したように構成されているものであり、車輻方向の一方側寄りに位置するス



テアリングはメインブラケットを中心として支持
ビームと支持ビームの他方側寄り中間位置を支承
するサブブラケットとにより支持されるものでは
あるから、ステアリング支持装置の支持剛性が向上
されるばかりでなく、その支持剛性の均衡化を図
ることができると共に、支持ビームのメインブラ
ケット固定位置であるステアリング装設位置にお
ける振動を低減させ、かつ均一化させることがで
きるので、ハンドル操作を円滑に行うことができ
るものである。

また、ダッシュアップパネルに対する支持ビ
ームのサブブラケットによる固定位置を変更する
ことにより、一方側寄り位置に変位しているステ
アリング装設位置におけるステアリング支持装置
の支持剛性の左右均衡を調整することができるも
のである。

〔図面の簡単な説明〕

第1図はステアリング支持装置の斜視図、第2
図は計器板の装着状態における第1図A—A線の
断面図である。

2・・・ダッシュアッパーパネル

3・・・カウルサイドパネル

4・・・支持ビーム 6・・・メインブラケット

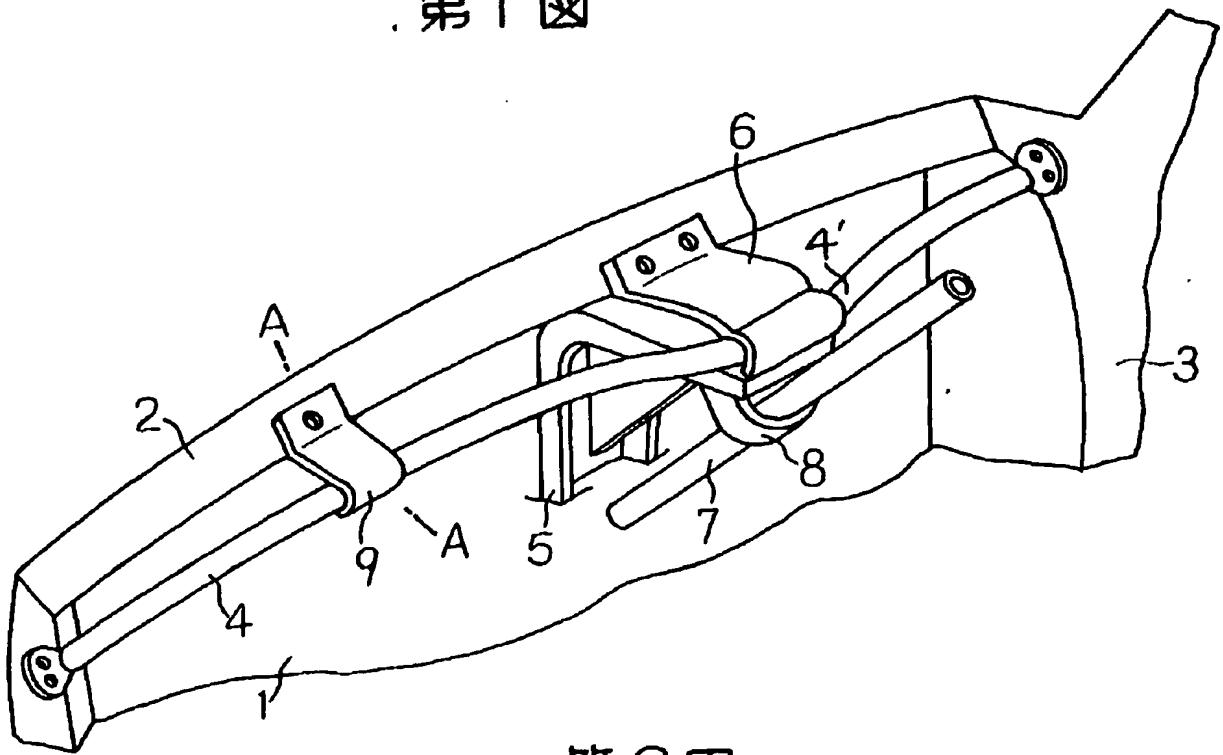
8・・・ステアリングコラムブラケット

9・・・サブブラケット

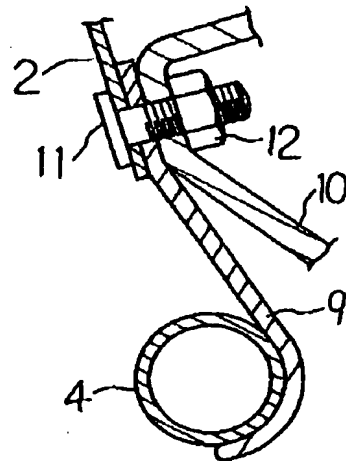
代理人 矢 吹 和 義

1033

第1図



第2図



1034

実開2- 54677

代理人 矢吹和義